

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月25日

【評価実施概要】

事業所番号	3771700907
法人名	株式会社旭看護婦家政婦紹介所
事業所名	旭グループホーム
所在地	香川県三豊市高瀬町上高瀬東原5388番地262 (電話)0875-72-3544

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成20年5月22日	評価決定日	平成20年6月25日

【情報提供票より】(平成20年4月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年10月16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	13人	常勤	7人 非常勤 6人 常勤換算 10人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り
	1階建て

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	17,000円	
敷金	有()円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300円	昼食	350円
	夕食	350円	おやつ	円
	または1日当たり			1,000円

(4) 利用者の概要(4月28日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	5名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 87歳	最低	83歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三豊市立西香川病院	氏家歯科医院
---------	-----------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山間の静かな場所に創設されたこのグループホームは、管理者の理念、方針が明確であり職員もそれを十分理解している。利用者の人権を尊重して、一人ひとりの立場に立ち、本人本位のきめ細やかなケアを実践している。職員の人間関係が良く、いつも笑顔を決やさず支援をしている様子は、入居者や家族などの不安を和らげ、入居者の明るく落ちついた雰囲気につなげている。また、協力医療機関との関係性がよく、いつでも訪問看護や往診、入院が可能なことは入居者や家族などの安心につながる。今後の活躍が期待されるグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では、多機能性を活かした支援と食事を楽しむことのできる支援について改善課題があったが、職員会議で意見を出し合い、具体的な改善に向けて取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で課題を出し合って取り組み、管理者がまとめた。今後も取り組んでいきたい項目について検討して、実践に活かしていきたいとの意欲がうかがえる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的に運営推進会議を開き、事業所の現状、今後取り組んでいきたい課題や評価について報告をして、参加者からは活発な意見交換がなされ双方向的な会議となっている。出された意見や要望などは職員会議で話し合い運営に反映させている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族などの来訪時や家族会の時には、苦情、意見や希望などを出しやすい雰囲気づくりに努めている。また、家族などと職員の交換ノートも利用している。出された苦情、意見や希望については、職員は共有して職員会議で検討し運営に反映させている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との交流は非常に良く、ボランティアの訪問活動や季節の野菜や花の差し入れがあるなど訪問も多い。また、事業所も地域の行事には努めて参加するようにしている。今後は地域で介護教室を開いて講師としていかれるなど、地域に密着した事業所として発展していかれることに期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らしていけるよう支援をしているが、理念に地域との関係性が薄いように思える。	○	これまでの理念に、地域密着型サービスとしての理念をつけ加えていかれることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者や職員は、毎朝申し送り時に理念に触れて共有し、日々のかかわり時に反映されるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の清掃活動に参加をしたり、ボランティア活動の受け入れなど、事業所は地域の一員として、地域住民との交流を深めるよう積極的に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員は、評価の意義を理解して自己評価には全職員で前向きに取り組んでいる。外部評価の結果についても全職員で共有して、具体的に解決できることから改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の現状や前回の評価への取り組みなどを報告して、参加者から率直な意見をいただき、そこでの意見や要望は全職員が共有して運営に反映させている。	○	運営推進会議には、利用者家族、民生委員、地元自治会長、地域包括支援センター、市職員など幅広い立場の人が参加されることが望ましい。今後は地域との交流を更に深めるよう事業所から積極的にアプローチすることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所から相談に行ったり、市町村からはよく情報をいただき、非常によい共働関係が保たれて、サービスの質の向上に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族などの来訪時や家族会の時などに、利用者の日頃の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の退職など個々に報告をしている。また、家族などと職員の交換ノートも利用している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族などの来訪時や家族会の時などに、話しやすい雰囲気づくりに努めたり、意見箱を設置している。また、外部へ表せる機関も紹介している。得られた情報は全職員が共有して運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は、退職予定があれば退職予定者と新人スタッフのだぶり期間を設け、自然体として、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は、それぞれの段階に応じた外部研修に参加して、内部で資料を用いて報告をしている。また、職員は学ぶことに意欲を持ち、個人的にも研修に参加して新しい知識や再発見に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者との交流は多く、情報交換や相互研修をし合ってサービスの質向上に努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に職員が訪問をして仲良しになるよう努めたり、事業所に来て貰ったりして、本人や家族などと相談しながら、自然体で安心してサービスが利用できるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、一緒に暮らす者として利用者の思いやこだわり、楽しみなどを理解しており、また、一人ひとりの得意とする分野も共有していて、教えて貰う場面も多い。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから希望や意向の把握に努め本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族などの思いや希望を聞き、主治医の意見を取り入れながら全職員で意見交換を行い、アイデアを出して介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに見直しを行っているが、見直し以前に変化が生じた場合は、本人や家族など関係者と話し合い、本人の現状に合った新しい計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診や馴染みの美容院、特別な買物に行きたいなど、その時々々の要望に応じて柔軟な支援をしている。また、地域の寄り合い場所として提供している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族などの希望するかかりつけ医の受診には職員が付き添って行き、受診結果については家族に報告して共有している。事業所は、かかりつけ医とは常に関係を密にしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については、本人や家族ならびに主治医と合議して、全員で方針を共有している。また、状態の変化があるごとに本人や家族などに説明を行ったり、思いや希望に沿えるよう支援をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常にスタッフ同志が日々のかかわりの中で注意を合せて、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応はしていない。また、記録など個人情報の取扱いは徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは持っているが、職員は一人ひとりの思いやその日にしたいことなどを把握して、その人のペースに合わせた支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日のメニューは、利用者と相談をしながら決める日もある。一人ひとりの力に応じて、職員と共に食事の準備や一緒に食事をしたり後片付けなどを行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ほとんどの利用者が毎日入浴を希望されるため納得した順番で、その人の意向を大切にしながら、入浴を楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、一人ひとりの生活歴や得意とする分野を理解して共有しており、畑での野菜作り、布切り、洗濯物たたみなどそれぞれで力を発揮できるよう支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は周辺の散歩をして、山菜を取ってきたり花を楽しんだり、季節の移ろいを感じている。また、時々ドライブに行き、いろいろな見学や買物などを楽しんでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者や職員は、一人ひとりのその日の気分や状態を把握して見守りを徹底しており、鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と連携をとり、年に2回利用者と一緒に避難訓練を行っている。また、運営推進会議で地域へお互いに協力し合うアプローチをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量については毎日チェック表に記入して、職員は一人ひとりのおよその摂取量を把握して支援している。また、馴染みの栄養士に時々チェックをして貰っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、自然光を取り入れ明るく、季節の花や飾り付けなどで、居心地のよい雰囲気が醸し出されている。また、唱歌が流れたり、調理をする音、ご飯の炊ける匂いなど、五感の刺激が感じられる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く、トイレや洗面所を設置してプライバシーの保持や排泄の自立につなげている。また、入居者は、それぞれ使い慣れた馴染みの物や好みの物を持ってこれ、お気に入りの部屋作りをして居心地良く過ごされている。		